

大月隆 おほつき たかし 評論家。慶應元年十月生れ（一八五一）。號乘山、月乘、本助等。文學同志會を興じ、自著を始め書籍出版に從事。小説、新體詩いふ筆を執りた。

著書 『文學の調和』（明治二十七年二月）『四百年文學同志會』（『人間學』）（昭和二十年二月）『日本文學同志會』（『勤學日記』）（明治二十年七月）『日本文學同志會』（『己身の專攻』）（文學同志會編）（明治二十二年三月）『日文學同志會』（『實業の初放』）（同）（明治二十二年五月）『日本文學同志會』（『人生の悔悟』）（明治二十二年九月）『日本文學同志會』（『人物の裏面』）（明治二十二年一月）『日本文學同志會』（『人生の審美』）（大月乘山著）（明治二十六年一月）『日文學同志會』（『詩の神』）（同）（大月ひさし合著）（同選）（明治二十六年五月）『日文學同志會』（『心琴』）（同）（編）（明治二十六年八月）『日文學同志會』（『臥龍梅』）（明治二十九年十月）『日文學同志會』（『古今哲言』）（明治四十一年二月）『日青木崑山堂』（『結婚白話』）（大月本助著）（大正二年六月）（『東京滑稽社』）等。

